

平成 24 年度 第 1 回 佐鳴湖のみらいを育む会 議事要録

日 時	平成 24 年 7 月 28 日 9 : 30 ~ 12 : 00	次 第
会 場	浜松総合庁舎 101 会議室	1) 開会
参加者	会員 22 名、事務局 7 名	2) 佐鳴湖の現状やこれまでの検討経緯
		3) 自己紹介
		4) 部会 ー佐鳴湖の目標とする姿を考えようー
		5) 閉会

1) 開会あいさつ	地域協議会会長
<ul style="list-style-type: none"> 佐鳴湖の浄化対策は、平成 23 年度を目標年度とした清流ルネッサンスⅡ計画に基づいて実施されてきた。これに続く計画について、昨年度のワーキンググループで検討し、その合意に基づいて、佐鳴湖みらいを育む会が設立された。 従来、このような対策は行政中心で行われ、市民は評価、チェックするという関わり方をしてきた。ワーキンググループでは計画段階から市民と行政が一緒になって策定することが議論され合意されている。これは新しい方式、佐鳴湖方式と言ってよい。 ワーキンググループでは様々な意見が出され、単なる浄化対策だけでなく、総合的な対策が検討された。 佐鳴湖のみらいを育む会は、実質的かつ具体的に次期計画の内容を大いに議論し策定していく組織である。その上で、専門委員会に科学的に合理的かどうかチェックしていただき、最終的には地域協議会の議を経て正式な計画策定となる。 どのような浄化対策の目標を設定し、どのような方法が必要なのかを考えていただきたい。また生息する多様な生物をどのように育てていくか、住宅街の真ん中にある水辺空間としてどのように環境整備をしていくかを検討していただきたい。 大いに議論いただき、よりよい市民の意見を反映させた計画を策定したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。 	
2) 佐鳴湖の現状やこれまでの検討経緯（資料 1 により説明）	説明：事務局
【質疑】	
<ul style="list-style-type: none"> 透明度はどのように測定するのか。（メンバー） 30cm 程度の白色円板を沈め、見えなくなるところの水深を測るという測定方法である。（事務局） 昨年度の検討の中で、佐鳴湖を泳げる湖にしたいという意見があったと思う。泳げるための透明度は、どの程度の値になるのか。（メンバー） 環境省から出されている水浴場の基準は、1 m 程度であったと思う。（事務局） 私達の環境は、行政と関わる部分が多い。何もわからないで、ここで出来もしない議論をするよりも、今現状として行政が考えていることを示していただいた方が、効果が高いのではないかと？行政関係者にぜひ出席していただきたい。（メンバー） 次回以降の検討には、関係部署の職員の参加を予定している。（事務局） 	

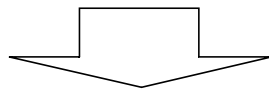
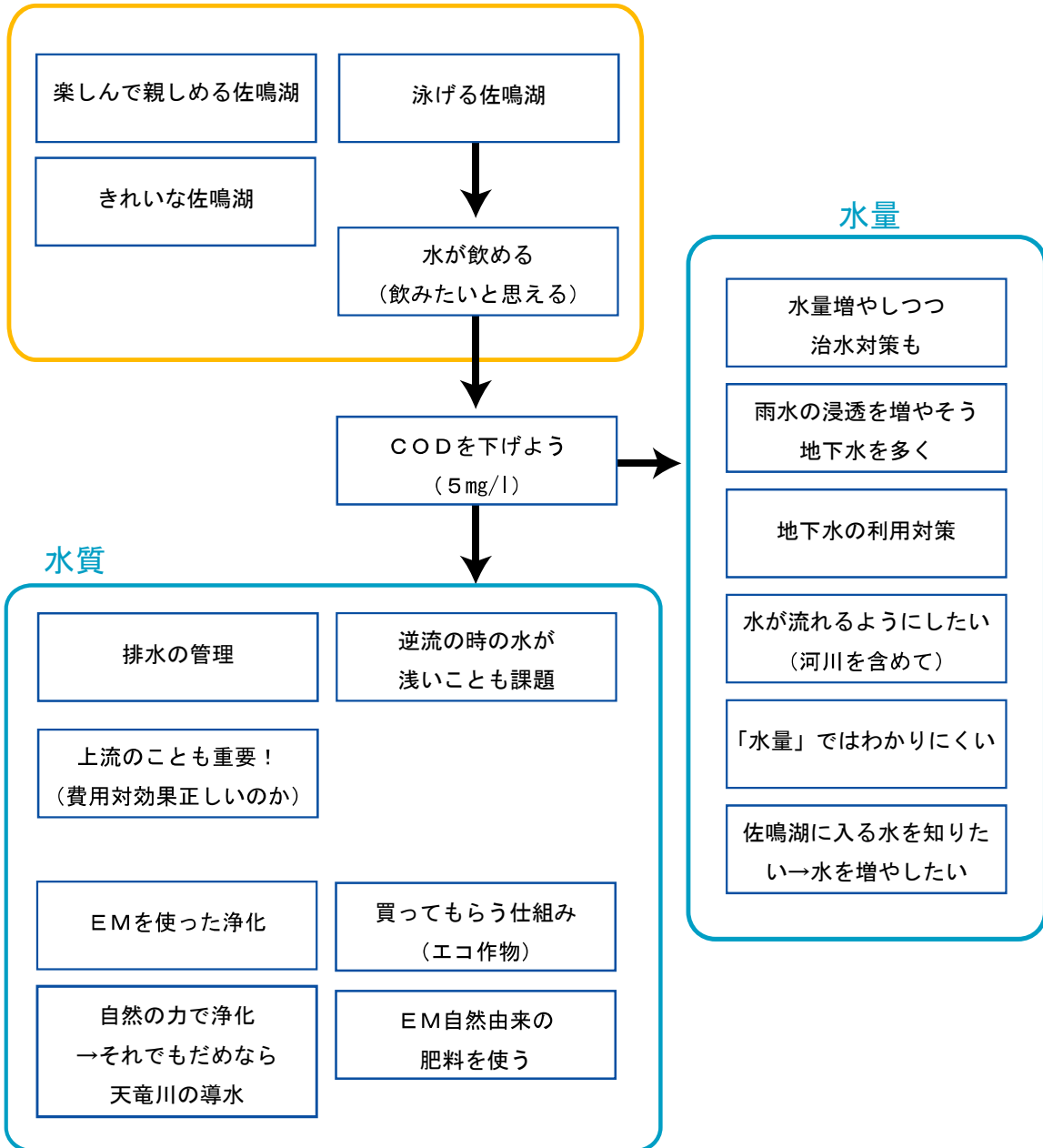
<ul style="list-style-type: none"> 清流ルネッサンスⅡの計画を延伸したということは、国土交通省の認定を受けた事業と考えてよいか。 資料1と参考資料1の組織図は、みらいを育む会与協議会との関係性が異なっているが、どちらが正しいのか。素案提示だけでなく、協議会とのやりとりがある方が良いと思うがどうか。 協議会での次期計画書の策定が4分の4半期の最後になっている。予算との関係であれば、4分の2、遅くとも4分の3のところで決定していなければ、26年度の予算には反映されない。25年度、26年度は計画策定の年度と理解していて良いのか。(メンバー)
<ul style="list-style-type: none"> 清流ルネッサンスⅡの計画は、平成23年度末を目標年次としていた。一部、下水道の接続率が目標に満たなかったことや、これまでの地域の皆様との取り組みの定着を図ることを目的に26年度まで計画を延伸している。 一方、事業としては、汚染源対策を基本とし、県ではそれを補完する河川対策を実施してきた。国土交通省からの補助の適用を受けた事業としての河川対策は、平成23年度で完了した。しかしながら、これまでのハード対策の効果分析のため、1年間だけ事業を延長しており、今年度が事業の最終年度となる。(事務局)
<ul style="list-style-type: none"> 総会から意見があれば、それを踏まえながら進めていかなければならない。スケジュールとしては一方通行になっているが、やりとりができればそれに越したことはないため、それを踏まえて計画を進めていきたい。 予算については、次期行動計画は平成27年度からのスタートを考えているため、この時期を見込んでいます。しかし、当面のスケジュールであるため、必要に応じて前倒しすることも考えている。(事務局)
<p>3) 自己紹介</p>
<p>メンバー、事務局一人ずつ自己紹介</p>
<p>4) 部会(資料2、参考資料1、参考資料2により説明) 説明：事務局</p>
<p>【質疑】</p>
<ul style="list-style-type: none"> この会は、行政と市民・住民が一緒になって次期計画を作っていくことを意図している。ある部会だけ行政の方が参加するのではなく、常に参加していただきたい。関連する部局の担当者は経験や知識を持っていらっしゃると思うので、第1回から会に参加していただき、これまで行ってきた施策等を踏まえて、我々の意見が適切であるか意見をいただきたいと考えていたがどうか。(メンバー)
<ul style="list-style-type: none"> 一部説明が不足していたため補足させていただく。初回は市民の方に意見を固めていただくことを想定していたため、行政の関連部署は参加していないが、第2回、第3回の具体的な検討の場には、関連部署の担当者に参加していただき、意見交換しながら進めていく予定である。(事務局)
<ul style="list-style-type: none"> 先程説明していただいた、どのように進めていくかという資料と、具体的にどのような部署が関わってくるのかという資料を、次回までに用意していただきたい。(メンバー)
<ul style="list-style-type: none"> 本日の検討結果を後日皆様にお送りする際に、同封させていただく。(事務局)
<ul style="list-style-type: none"> 市や県の関係部署には、我々と一緒に進めていくことを十分理解するようにしていただきたい

い。(メンバー)	<ul style="list-style-type: none"> 行政の中では、佐鳴湖浄化プロジェクト会議を立ち上げ、第2回以降はこの会議に参加するという事ので了承を得ている。第2回までに、ワーキンググループで検討いただいた取り組みについて、取り組み毎にシートを作成して行政の考え方をまとめ、それを資料として皆様に検討していただきたいと考えている。(事務局)
3部会に分かれて検討 検討結果の発表（検討結果の詳細は、別紙参照）	
5) 閉会	事務局
<p>本日は長時間に渡り、また暑い中、熱心な多岐にわたる議論をしていただき、お礼を申し上げます。自然生物部会はキャッチフレーズの検討まで行かなかったが、今後はキャッチフレーズや検討の方向性に基づいて、具体的な施策や取り組みの内容について議論を深めていきたい。</p> <p>今回は、9月末から10月初旬の開催を考えている。また、事前に開催案内等配布させていただく。</p>	

以 上

水質水量

- ①佐鳴湖の目標とする姿を考えよう（長期的には10年、短期的には3～5年程度）
- ②意見をグループ分けして整理しよう



- ③各部会のキャッチフレーズを考えよう

泳げる佐鳴湖を目指そう

- ①佐鳴湖の目標とする姿を考えよう（長期的には10年、短期的には3～5年程度）
- ②意見をグループ分けして整理しよう

どういう生物がいるか？
現状を知る必要がある

河川
県の事業で52種類の生物
を確認
純淡水系が減っている
汽水系が増えている

昆虫（トンボ）
塩水化で種類が変化

環境政策課（市）

浜松野鳥の会

情報共有化して今後の話
を進める

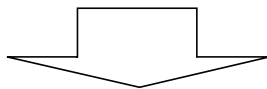
←→
相反することもある
議論が必要

景観をどうとらえるか？
浜松の宝とする時、大事
となる 議論が必要

ツルヨシは上を刈るだけ
水流れるところ少ない
水防の課題

外来種の問題
慎重に考えないといけない

オオクチバス、ブルーギル
は本体では見られない
新川にもいない
東神田川に多い



- ③各部会のキャッチフレーズを考えよう

後で検討する

- ①佐鳴湖の目標とする姿を考えよう（長期的には10年、短期的には3～5年程度）
- ②意見をグループ分けして整理しよう

しくみづくり

佐鳴湖の未来を育むための条例の作成！

将来の姿としては国立公園とまでは言わないがゴミは持ち込ませないというシステムへ

佐鳴湖のクリーン化の義務化（エリアを決定）

佐鳴湖巡視員の設立（腕章）

美しくきれいな湖に関わる仕組みづくりに一歩進める（施設・教育・博物館）

活動のテリトリーを決める

楽しむ・いこいの場

いこいの場

水辺で遊べる場

市民が喜んで楽しめる公園（健康 スポーツ いこい）

軽スポーツを楽しむ場

健康づくりの場

車で 自転車> 歩いて 一周

市民交流の場

佐鳴湖で学ぶ小中学生向けのワークシートの研究（開発）

野外ステージ 老若男女が集える場所

佐鳴湖のことを学べる場所 植物、魚、歴史

花火、バーベキューのできる所を設ける

環境について考えてみる機会になる広場

水害に強い湖づくり

案内板の多様化

安心して周回（散歩）できる周遊道の更なる整備

わかりやすいサイン

車がスピードを出して走行できない様ジグザグの道路にする

佐鳴湖に流れ込む河川のクリーン化

みどりの水の > 保存

佐鳴湖と一体で西岸の山道（ハイキングコース）の整備

博物館<環境教育>

湖内の環境も考えよう！

全公園イメージ

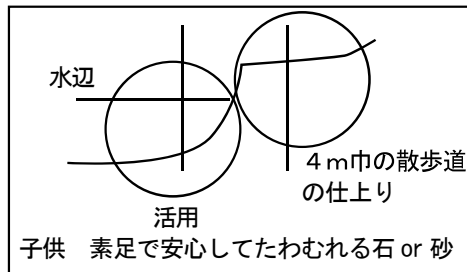
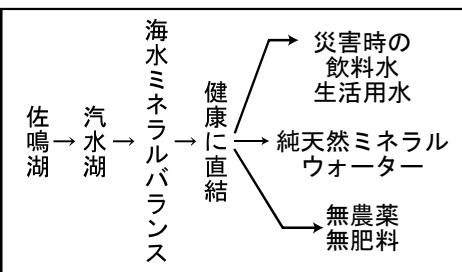
- i) 大 広く残す
- ii) 中 樹木
- iii) 小 遊具整備

周辺住民も受け入れられる環境整備を...

浜松中心街と直結するモノレール地下街

湖上の活用見直し内 新たな取入れ

駐車場の整備



湧水がある？

蜆がいる！！びっくり

理想とする姿はどの様なものか？統一したイメージを共有する必要がある。

- ③各部会のキャッチフレーズを考えよう

未来の人たちに受け継がれる佐鳴湖へ

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

※赤文字は平成24年度第1回佐鳴湖のみらいを育む会の結果を受けて新たに追加した項目

実施対象	検討項目	対策		実施主体					現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度	
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市				静岡県	具体的な指標		目標値
水域に関すること	水質	下水道整備	下水道の管渠整備 整備対象区域の再検討（費用対効果）					●		・H23末の整備率は上流域100.1%、下流域96.0%、普及率は上流域94.9%、下流域90.9%	浜松市	・整備の継続	下水道整備率、普及率		◎
			下水道への接続	●				●	●	・H23末の接続率は上流域92.8%、下流域94.6%	市民協議会 浜松市	・	下水道接続率		
			下水道接続への補助					●		・資金の貸付基金の幹旋、利子補給制度・生活扶助世帯補助金制度	浜松市	・補助制度の継続			
			下水道接続の啓発	●	●		●	●		・戸別訪問やパンフ配布、広報誌やホームページの活用、郵便による勧奨、相談窓口の設置、アンケート実施 ・自治会長による説明、自治会イベント等の取り組み	市民事業者協議会 浜松市	・	下水道接続率		
			合併浄化槽設置への補助					●		・補助金の交付	浜松市	・補助制度の継続			
		合併浄化槽の整備	合併浄化槽設置の啓発	●				●	●	・パンフレット配布、ホームページや広報誌の活用・自治会長による説明	市民協議会 浜松市	・	合併浄化槽整備数		◎
	事業所での排水対策	排水処理の強化		●				●	・排水処理施設の設置もしくは改良、生産工程の見直し(技術革新) ・戸別訪問して排水の水質調査、指導 ・市民による排水の観察と市への情報提供	事業者 浜松市	・エコファクトリーとして新聞や広報に掲載 ・指導の継続	エコファクトリー認定数			
	各家庭での排水対策	環境に優しい排水の啓発	●					●	・市から啓発用パネル等を貸出して公民館まつりなどで展示	市民協議会 浜松市	・エコガーデナー、エコファミリーのモデルを提案し認定制度をつくり、エコファーマーと連携する	オープンエコガーデン、エコファミリー等の認定数			
	市街地での対策	地域の清掃活動の活発化、路面清掃、排水溝清掃	●					●	・道路管理者による路面や側溝の清掃 ・自治会毎の排水路清掃 ・佐鳴湖クリーン作戦	市民 浜松市	・流域一斉清掃デーの実施	清掃活動の回数、参加者数		◎	
	農地での対策	環境保全型農業の推進	●	●				●	●	・エコファーマー認定制度、エコファーマー農地面積率16.7%(H23)	市民事業者協議会 浜松市	・野菜の購入、市民農園 ・野菜の販売、佐鳴湖ブランド開発 ・イベントの協賛、佐鳴湖ブランド認定 ・認定数の増加、販売や商品化の指導や補助	エコファーマーの農地面積率		
面源負荷についての説明	面源負荷についての説明、活動の啓発	●					●	●	・啓発用DVDの作成、配布	市民協議会 浜松市	・イベントの開催、チラシの作成配布、広報等へ記事掲載、新聞投稿、佐鳴湖博士制度を活用した出前講座	イベント参加者数		◎	
直接浄化施設	浄化施設の活用							●		静岡県	・				
	浄化施設の維持管理の市民参加	●					●	●	・せせらぎ水路の整備	市民協議会 静岡県	・	維持管理の参加者数			

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

実施対象	検討項目	対策		実施主体						現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度	
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市	静岡県				具体的な指標	目標値		
周辺の自然環境に関すること	自然、景観	緑地、樹木の保全、保護	保全のための学習会を開催する	●				●				市民 浜松市				
			保全のためのルールづくりをする	●				●				市民 浜松市				◎
			市民の森の適切な管理、流域全体に市民の森を広める	●				●			・市民の森に指定されている樹林地 (359.129m2)の所有者に報奨金を支払い、保全に貢献する	市民 浜松市				
			特別緑地保全地区や緑地保全地区を積極的に保全する					●				浜松市				◎
			樹木に名札をつけ、樹木公園にする	●				●				市民 浜松市				
		景観の保護	今ある緑を守る	●				●				市民 浜松市				
		眺望の確保	遊歩道から水辺を見やすくするため、雑木、生垣の間引きを行う	●				●				市民 浜松市				
		名勝地「佐鳴湖」のPR	佐鳴湖が市の指定文化財、名勝地であることをPRする					●				浜松市				
		佐鳴湖の景観を再発見する機会を設ける	ポスターコンクールを継続して開催する	●				●		・ポスターコンクール(小中学生対象)の実施	市民 浜松市					
		景観の形成	一年中花が咲いている空間をつくる(春:サクラ、夏:ヒマワリ、秋:ヒガンバナ、冬:スイセン)	●				●				市民 浜松市				
	花いっぱい運動などの推進		●				●				市民 浜松市					
	環境、循環	湖岸の維持管理	湖岸のヨシ刈り	●			●		●	●	・ヨシ刈りの実施(年1回)	市民 協議会 浜松市 静岡県	ヨシ刈りの参加者数			
			湖岸の清掃活動(清掃グループをつくり、範囲を決めて管理する) リバーフレンドシップやアダプトプログラム等の制度を活用、義務化を検討する	●				●	●			市民 浜松市 静岡県	リバーフレンドシップ、アダプトプログラムの参加者数			◎
			清掃活動の補助(清掃用具の貸出し)					●	●			浜松市 静岡県				
			管理棟にゴミ袋を設置し、ゴミを持ち帰ってもらう 将来的にはゴミを持ち込ませないシステムを確立する					●	●		・不燃ごみの低減→投棄量に結びつかないので、指標としては見直し	協議会 浜松市				
佐鳴湖巡視員の設立し、湖岸の監視・指導を行う			●				●	●								
資源の有効活用	刈ったヨシの再資源化、活用	●	●		●	●	●		・土壌改良材、敷藁として活用、動物園や家畜の餌として利用	市民 事業者 協議会 浜松市 静岡県	・新しい活用法の開発、実用化					

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

実施対象	検討項目	対策		実施主体					現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度		
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市				静岡県	具体的な指標		目標値	
周辺の自然環境に関すること	生物	生態系の把握	現在どういった生き物がいて、昔とどう変わっているのか、佐鳴湖の生態系を把握する			●		●	●							
		植林活動を行う		●				●			市民 浜松市		植林面積、植樹本数		◎	
		ヘドロを堆肥化し植林等に活用する					●	●			浜松市 静岡県					
		市民協働で湖内に水草を植える		●		●	●		●		市民 研究機関 協議会 静岡県	・現在の環境に合った水草の実験を実施 ・市民協働で水草の植栽、植栽後のモニタリングや検証	水草の植栽面積		◎	
		湖岸に干潟を造成する							●		静岡県					
		ヘドロを除去し、渚と湖棚を造成する（御前谷排水路前に湖棚を造成する）							●		静岡県				◎	
		ヤマトシジミの再生		●		●		●		・シジミ再生プロジェクト（幼貝の放流実験の実施）	市民 研究機関 浜松市	・シジミ再生プロジェクトの継続			◎	
		流入河川の整備を行う（稚魚の生息の場、環境学習の場）		●				●	●							
		外来種対策	市民のペットマナーの向上を図る（捨てない）	●				●				市民 浜松市				◎
		捨て猫対策	捨て猫を保護する場所を確保する（佐鳴湖から移す）	●				●	●			市民 浜松市 静岡県				
外来種の駆除	ミシシippアカミミガメの駆除（専門機関と駆除の仕組み作りをする） オオクチバス・ブルーギルへの対策（東神田川）	●				●				市民 浜松市		駆除イベントの参加者数、駆除した個体数		◎		

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

実施対象	検討項目	対策		実施主体						現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市	静岡県				具体的な指標	目標値	
人間活動に関すること	学習	水質に関する学習	新指標水質調査へ参加呼びかけ	●			●		●		市民協議会 静岡県	水質調査の参加者数			
			行政から市民へ調査機材の貸出					●	●	・調査機材の貸出し ・簡易分析計の貸出しは夏休みを中心に25件(H23)	浜松市 静岡県		調査機材の貸出件数		
			移動環境教室（出前講座）の継続	●				●	●	・市内小学校で移動環境教室を開催（H23は40回）	市民協議会 浜松市 静岡県		移動環境教室の回数		
		学校での学習	小中学校での環境学習を活発化する（学校独自のプログラム）	●			●	●			市民協議会 浜松市				
		学習の教材作成	佐鳴湖について学ぶためのワークシートの開発（小中学生向け）	●			●	●							
		学習の場の確保	佐鳴湖資料館、佐鳴湖周辺の歴史を知る資料館、水族館の整備、管理棟の機能強化（博物館化）、家族で行ける郷土学習の場の確保					●		・佐鳴湖博士制度、佐鳴湖検定、啓発用DVD作成配布、佐鳴湖交流会で情報交換	浜松市	佐鳴湖博士制度の活用件数、佐鳴湖検定合格者数			◎
	交流	湖岸の交流活動	佐鳴湖ウォーク等の活性化	●					●	・佐鳴湖一周ごみ拾いウォーキングの開催（年1回）	市民 浜松市				
			佐鳴湖西側の山道（ハイキングコース）の整備						●						
			ヤングファミリーを呼ぶための仕組みづくりをする	●			●	●			市民協議会 浜松市				
		交流の場の確保	市民協働で公園整備計画を作る	●				●			市民 浜松市				
			野外ステージをつくる					●			浜松市				
		飲食の場の確保	カフェ、レストラン、露店、バーベキュー場をつくる	●	●			●	●		市民 事業者 浜松市 静岡県				
		コンセプト	健康づくりの場、憩いの場等「佐鳴湖公園」のコンセプトを統一	●				●			市民 浜松市				◎
	エコファーマーの活動の場を設ける	農産物の青空朝市の開催		●			●		・佐鳴湖感謝祭で農産物販売	事業者 浜松市				◎	
佐鳴湖利用マナーの向上	トイレをきれいに使う	●							市民						
	公園でのイベント主催者に佐鳴湖浄化を呼びかける	●			●	●			市民協議会 浜松市						
	市民参加の「佐鳴湖景観計画」をつくる、佐鳴湖のみらいを育む育むための条例をつくる	●				●			市民 浜松市						

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

実施対象	検討項目	対策		実施主体					現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度	
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市				静岡県	具体的な指標		目標値
人間活動に関すること	遊び場の創出	ヘドロを固化してグラススキー場を造成する					●	●		浜松市 静岡県					
		遊び道具を設ける(キノコのトーテムなど)					●			浜松市					
	憩いの場の創出	湖岸を再生し、憩いの場とする					●	●		浜松市 静岡県					
		ウォーキング、ジョギング、自転車それぞれの場を設ける 軽スポーツを楽しむ場を設ける					●		・遊歩道の整備	浜松市				◎	
		渡し船、遊覧船の導入		●						事業者					
	ひそかな楽しみを一般化する	バードウォッチング(フクロウ)などを一般化する	●			●				市民 協議会					
	せせらぎ水路の管理	市民協働によりせせらぎ水路を管理(浄化水で理想像をつくる)	●					●		市民 静岡県		維持管理の参加者数			
	湧水池の整備	佐鳴湖周辺にきれいな湧水池をつくりイメージアップを図る	●				●			市民 浜松市				◎	
	憩い	佐鳴湖への理解を高める	子どもから大人まで、実際に佐鳴湖に来てもらう	●			●		・アンケート調査の実施(関心度80%以上、利用者率60%以上)	市民 協議会		関心度、利用者率			◎
			2年連続でワースト5を外れたことをPRする				●	●		協議会 浜松市					
			佐鳴湖の良さ、楽しみ方を再発見し、発信する	●			●	●		市民 協議会 浜松市					
	佐鳴湖コーディネーターの設定	佐鳴湖を総合的に管理するコーディネーターを養う	●			●				市民 浜松市					
	イベントの開催	佐鳴湖浄化の啓発イベントを開催する トライアスロン大会など、浄化が目に見えるようにPRする				●		・昨年度は佐鳴湖感謝祭を開催	浜松市		イベントの参加者数				
	ホームページの活用	佐鳴湖地域協議会等のホームページを活用する	●			●				市民 浜松市		ホームページのアクセス数			
	イメージキャラクターの設定	ヤマトシジミをイメージキャラクターに起用する				●				浜松市					
	歩道の安全性	自動車道に制限をする(西岸を自動車進入禁止にする、道路をジグザグにする)					●			浜松市					
防犯対策	防犯所等を設置する					●			浜松市						
ユニバーサルデザインの導入	ユニバーサルデザインにより多くの人が利用できるようにする。					●			浜松市						
湖内や湖上の活用	現在の利用方法の見直しや、今後の利用方法の検討を行う	●			●	●									
案内看板の設置	佐鳴湖のことがわかりやすいサインの設置、案内板の多様化を行う				●	●									
生活	環境保全型農業	エコファーマーの認定を推進する					●			浜松市		エコファーマーの耕作面積率			
		土壌分析・施肥等の農業活動の管理指導を行う					●	●		浜松市 静岡県					
		浄化への努力が利益になる仕組みづくり(行政認証等)					●	●		浜松市 静岡県					
	エコ活動を地域の個性にする	佐鳴湖をエコ活動の拠点にする	●			●	●			市民 協議会 浜松市					
	駐車場の整備	佐鳴湖周辺の駐車場を整備する					●								
交通網の整備	バス路線の整備		●			●			事業者 浜松市	・浜松駅、高塚駅からの直行路線					
	LRTやモノレールを計画する		●			●			事業者 浜松市						
	都市計画道路の整備					●			浜松市						

佐鳴湖のみらいを育む会 対策一覧表

その他

実施対象	検討項目	対策		実施主体						現在の指標、実施中の行動	実施主体	具体的な行動のアイデア	目標		優先度	
		名称	内容	市民	事業者	研究機関	協議会	浜松市	静岡県				具体的な指標	目標値		
			地域協働の活動を佐鳴湖でどう進めるか検討する。									育む会で検討中				
			佐鳴湖の価値を可視化し、具体的にする									育む会で検討中				
			総合的に佐鳴湖対策を進める組織の立ち上げ									佐鳴湖のみらいを育む会、地域協議会、プロジェクト会議				
			佐鳴湖に関する知識を関係者等で共有する仕組みづくり									佐鳴湖のみらいを育む会の活用、プロジェクト会議				
			地域協議会の組織構成の見直しを行う									検討中				
			育む会の位置づけを明確にする。									市民や行政等が協力して取り組む対策の検討・実施				